

執行委員長

執行委員長 山下 英司
プロフィール

法学部法律学科(4回生)
A型魚座
少林寺拳法部



新入生のみなさん、御入学おめでとう。

今、みなさんは、厳しい受験戦争をくぐりぬけ、それぞれの思惑を胸に秘めて修大の門をくぐったのだ。これからの四年間は、みなさん全員が同じ修大生なのだから一日も早く修大生としての自分の生活を見つけて欲しい。

さて、みなさんは大学生活をどんなものとして考えているだろうか。大学生とは、社会からある程度その果たすべき社会的責任を免除されたいわゆるモラトリアムの期間におり、この四年間の大学生活こそが人生で最後の、と言っても過言でない、貴重で自由な期間なのである。そんな事は言われなくてもわかっていると思うだろうが、もう一度その意味を考えてみて欲しい。自由で自分の好きな事が何でもできる期間であればあるだけその過ごし方に大きな差が出るのだ。そしてこの差こそが人生を左右する程の大きな意味を持つのだ。そこで今からその四年間のスタートを切るみなさんに仲間として、また先輩として言いたい事が2つある。1つは、この四年間に“自分はこれだけは人に負けない”“私はこれだけはだれよりも一生懸命やった”と言えるものを必ず創って欲しい。この事は言うはやさしいがやろうと思うとなかなか難しいものである。しかしこう言い切れるだけの努力をすれば、それは大学生活の大きな思い出になっているだろうし、また大きな自信にもなるだろう。その自信は、大学を卒業してからの長い人生を生きて行く上でも必ず自分の大きな支えになると思う。もう1つは何事をするにも一生懸命やって欲しいという事である。言い換えれば日々充実した生活を送るという事になるかもしれない。これは私の考えだが、本当に自分の身になる事は、自分が本気で取り組んだ事だけだと思う。大学で勉強をするのもクラブ活動をするのも、またバイトをして車を買うのも、それは各人の自由である。しかし、いい加減にやった事はいい加減な体験でしかない事を知るべきだろう。だから何事をやるにしても、やるからには必死で取り組んで1つ1つを自分の糧としていって欲しい。この四年間は何にでもトライしてみる事ができるのだから…。そしてそういう重たい経験の数の多い者こそが有意義な大学生活を送ったと言えるのではないかと考える。

最後に、みなさんは修大に入学すると同時に修大友会の会員になる訳だが、この学友会は全国でも珍しい、有機的に機能している学生自治組織である。この学友会組織に誇りを持ち、またその活動に関心を持って欲しいと思う。学生の学生による学生の為の組織で、みなさんの四年間と切っても切れないものなのだから……。

書記局

書記局長 奥出 明彦
プロフィール

法学部4回生
ミステリィクラブ
福井県生まれの広島人



新入生諸君、入学おめでとう！

君達は今日から広島修道大学の学生だ。

長く辛い受験戦争をのり越えてきた君達に心より勝利の祝盃をあげよう。でも、その前に一つだけ言わせてほしい。君達はこれからの四年間をどの様に過ごそうと考えているのだろうか？

勉学に励み、真理を探求していく？それは素晴らしい事だ。大学とは真理の探求の場なんだから。

サークル活動に没頭する？がんばりたまえ。大学とは人間型成の場でもあるんだから。アルバイトにギャンブル？それもいいだろう。

いずれも学生の間でしか出来ない事だし、それは君達の“自由”の特権でもある。でも、間違っはほしくない。君達の“自由”は与えられる物ではないのだ。

君達はモラトリアムという言葉聞いた事があるだろうか？専門用語でのモラトリアムは人間が大人としての責任や義務を負うことを免除された所謂“執行猶予期間”を意味している。そうした意味からすれば大学では四年間はまさにモラトリアムと云えるだろう。

でも、四年間なんてあつと言う間だ。大学を卒業すれば即、一人前と見なされる。モラトリアムなどと甘い事を言ってはもらえない。社会人としての責任ある行動をとらなければならない。大学での四年間は自由な時間である一方、社会に出るうえで非常に重要な時期でもあるのだ。

君達に言いたい。責任ある行動をとってほしい。学生であるが故の甘えは捨ててほしい。

君達の“自由”は君達が自らの責任で勝ち取る権利なのだ。そしてその“自由”を有効に積極的に使えれば素晴らしい大学生活を送る事が出来るに違いない。力一杯がんばってほしい。

君達は今、真白いキャンパスだ。君達がどんな色に染っていくか、それは君達しだいだ。



次長 久野 均(商4)



広報室長
石田 佳司(法4)



細井 正道(法2)

会計局

会計局長 高 亀 英 作

プロフィール

人文学部人間関係学科社会学専攻3年

A B型 おうし座



新入生のみなさん、御入学おめでとう。

これから君達は、大学という所で4年間(あるいは、もっと)すごしていくのです。大学って何でしょうね。学問研究の場であるとか自由な世界だとか君たちは思っているかもしれない。

僕はこう思います。大学とは、大いなる可能性を追い求める所。ちょっとキザですね。なんのことはない、いろんな事ができるっていうことなんです。勉強だって遊びだって、いろんな事ができます。僕は、君達にいろんな事をして、いろんな経験をして欲しいと思います。勉強、サークル、アルバイト、学友会活動(チョット宣伝)など、いろんな事にチャレンジして下さい。いろんな事をするうちに、自分の生きがいとか、いうものが見つけられると思います。なるべく、まず行動してみてください。行動しないと何もはじまりません。大学っていうのはそういうところですよ。また少し宣伝になりますけど、4月19日、20日、21日、大久野島国民休暇村で、新入生歓迎セミナーというのがあります。これに参加してみるのもいいでしょう。一つのキッカケになると思います。

この4年間で、何かをつかんで下さい。できるだけたくさん。さあ、始めよう。

※局員募集 くわしくは、学友会本部会計局まで。



阪谷 幸春(法3)



三上多恵子(人3)

体育局

体育局長 下 岡 真

プロフィール

法学部法律学科4回生

山羊座 B型

剣道部



新入生諸君、入学おめでとう。学友会体育局は諸君の入学を心から待ち望んでいた。

さてここで先輩として一言。大学生活で最も重要なのは「関わり」を大切にすることだろう。対象は学問、研究、スポーツ、文化、etc…。しかし結局は人間関係に尽きる。この大学には5,000人も人間がいる。君達次第で何百人もの人間と「関わり」を持つことができる。様々な経験をすることができる。その最初の出会いの場として体育局サークルを選んでみないか。

体育局サークルは日々の活動を通して自己の人格形成に努めている。スポーツを通じての先輩、後輩の人間関係により礼儀・責任・指導性が養われ、社会に出ても有為な人材として認められるであろう。また、大学四年間をひとつのことに熱中してやり遂げた自信と先輩・後輩の人間関係は金では買えない一生の財産となり得るであろう。そしてまた体育局行事、学友会行事等を通じて様々な人間と出会えるチャンスも数多くある。

諸君が体育局サークルを通じて自己の人間性を向上させ、より多くの人々と出会うことを望む。

最後に一言。“籠の中の鳥になるな”

体育局は自由自在に飛びまわれる黄金の鷺を育成する場である。



体育局幹事会役員



次長 百々 克己(商4)
木本由香里(商4)

文化局

文化局長 白石 純
プロフィール
人文学部4回生
映画研究会



入学おめでとうございます。大学生活がんばろうね。充実した生活を送るのも、つまらない生活を送るのも君達自身なんだから、自主性をもって、自由に生活してみてください。

ぼくらのまわりには、いろいろな価値感が存在しています。君達の大事にしている価値って何ですか。もし、君達が価値感をもっているなら、他の価値にも魅力を感じませんか。君達の価値感って、どんなものか説明できますか。

大学生活で大切なことは、多角的な物の見方を養うことだと思います。そのためには、多くの人と議論したり、多くのことを経験したり、時には、自分の枠組みを自分で分解することも必要かもしれません。その結果、脳細胞が“かっ飛ぶ”こともあるかもしれません。でも頑張って、自分なりの多角的な、グローバルな思考能力を身につけて下さい。若い君たちには、それは可能なことです。そして自分自身を発見して下さい。

この4年間を有効に使って、ひと回りもふた回りも大きな人間になって下さい。この4年間は、君自身にかかっているのです。がんばって下さい。



(右) 5京 や百 貴次
(左) 里音由本木

次長 藤田蒼司貴(商4)
藤井 裕一(商4)

厚生局

厚生局長 上瀬 洋二
プロフィール

広島県立安芸高等学校卒
商学部管理科学科4回生
O型 史蹟踏歩会 乙女座



新入生の皆さん御入学おめでとうございます。長かった受験期を乗り越えて、希望と不安が交差している時期ではないでしょうか。たとえ修大にいくことが本意でなかった人も君たち次第でこれからいくらかでも可能性の枠を広げ、新しい自分の発見をできるのです。

大学四年間は、講義にしてもサークル活動にしても自ら参加しなければ何も与えてくれません。今自分がしたい事や興味があることに積極的に取り組み、大学四年間で何も記憶に残るものがない。何も得ることがなかったと悔やむことだけは避けてほしいと思います。

まあ、これからじっくりと自分を見つめ直し、大学生活を楽しんで下さい。

では、厚生局のことを少し話しておきましょう。厚生局は食堂関係をはじめとして、スクールバス、献血、学内美化、その他の厚生施設など学友にとって欠かすことのできない重要な問題を扱っています。これらのことでわからないことがあればいつでも学友会室の方へ聞きに来て下さい。

最後に厚生局では本局員を募集しています、興味のある人は学友会厚生局まで。



次長 平川 雅弘(商4)



立花由起子(人3) 木村 浩子(人2)
讃岐麻利子(人3)